



日本共産党 和歌山市議員

森下さち子 ニュース

2013年【7月号】 和歌山市鳴神 1145 の6 TEL(474)6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113



議会報告

6月定例市議会報告

6月14日の一般質問には日本共産党市議員5人全員が質問に立ちました。今号は私、森下が質問した「鳥獣害対策」と「学童保育」について報告します。

鳥獣害対策について

安原地区では捕獲されたイノシシの頭数を見てもここ数年、市内では最も多い地域となっていることが分かります。

5月に広原地区から名草山に登り、被害の現状を視察しました。広原地区は中山間農業地域ですが、高齢化により環境整備を行いにくい現状があります。放置された竹林が広がるとさらにはイノシシの隠れ場所となつて、人との共存関係を崩します。市は今年度予算で2人の非常

勤職員を「鳥獣被害対策実施隊員」として採用し、猟友会と連携してイノシシなどを捕獲しています。この事業で捕獲に大きな効果が出ていると言いますが、広原地区でのイノシシの絶対数は減っていません。

イノシシの捕獲と共に地域の環境整備に向けて、さらなる対策を講じるべきだと求めたところ、市は環境整備の予算活用を周知すると共に必要な体制と予算の確保を行っていくと答えました。

梅雨の本番を迎えています。梅雨入りしたかと思つたら、しばらくは空梅雨でほとんど雨が降らなかつたものの、6月中旬を過ぎる頃からやつと梅雨らしい天気になってきました。湿度の高いこの時期の雨はうつとうしいものですが、降るべきときに降ってくれないと農作物への影響が懸念されます。草木や作物はむしろこの雨を歓迎しているでしょう。そう思ってこの季節を過ごすことにしようと思います。



7月はいよいよ参議院選挙です。暑いときですが、消費税増税や憲法改悪をストップ、政治の流れを変えるために、日本共産党へみなさんのお力をお貸しください。



学童保育のこれから

昨年8月に成立した「子ども・子育て支援法」を受けて、市は「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、学童保育を「放課後児童クラブ」として位置づけ、2015年からは市の事業として実施することになります。

待機児童の解消や保育内容の充実、指導員の待遇改善など、現時点での課題も含めて、放課後の子どもたちにももちろん、働く保護者にとって安心できる学童保育をどう作っていくかが問われます。

私はアンケートなどのニーズ調査に加え、市民の積極的な意見、提案

6月定例市議会 日本共産党5議員の一般質問事項

ひめだ高宏	*避難路の整備 *道路の拡幅と歩道の設置 *高齢者の健康
森下さち子	*鳥獣被害対策 *学童保育について
南畑さち代	*脳脊髄液減少症について *和歌山城・市駅のトイレ
松坂みち子	*安心して医療が受けられるための施策 *難病等に関して
渡辺忠広	*TPP協議参加に対する市長の対応 *市農業施策（生産緑地や市民農園・森林公園）

*日本共産党以外には公明党・市民クラブ・民主クラブ・絆クラブから計6名が質問に立ちました。

をどう汲み尽くしていくのかが大切であり、市民参加の計画作りを求めました。市はこの6月議会で「和歌山市子ども・子育て会議」を設置し、今年度中に公募市民を含めた20人の委員会で計画案を策定する予定です。パブリックコメントの実施も予定されているので、現在の利用者のみならず、関心のある方の積極的な意見をぜひ挙げてくださるようお願いいたします。



原 やすひさです



先日、山下よしき参院議員を白浜で迎え、朝いちで旅館組合を訪ねて要望を聞かせていただいた。そのあと特急「くろしお」に乗り串本町役場へ。ここでは副町長さんをはじめ担当の職員のみなさんから防災対策の取り組みを詳しく聞き懇談。

大地震の場合、最悪15mの津波が3分以内に押し寄せる海辺の町・串本。町内のすべての小中高の児童と生徒に救命胴衣を完備しているのははじめきめ細かい対策が行われており、考え抜かれた備えが進められている。



説明を聞き、懇談する（左から）山下議員と原やすひさ。 6/22



連日、大中小の「つどい」に出席。この日は和歌山市の中ブロック後援会の「日本共産党と語る会」。その後、橋本市へ。 6/23

再び特急くろしおに乗って新宮市へ。1時をまわっていたので腹ペコ。新宮市議の杉原さんが連れて行ってくれた食堂には「クジラの刺身」が。南紀州に暮らしているのでクジラはたまに食べるが刺身は初めてだった。2時からの新宮の演説会は180人の参加で盛り上がった。

演説会場からさらに車で那智勝浦町へ。漁業協同組合で寺本町長と片谷組合長と懇談。寺本町長からは一昨年の大水害の災害復旧がまだまだ途上であることや、片谷組合長からは漁業が直面している苦境の生々しい話を聞かせていただいた。

18時ジャスト、紀伊勝浦駅から特急くろしおに。車中で山下さんと一日の出来事を振り返りながらあれこれと話した。車窓を過ぎる集落や海岸線を見ながら疲れからか眠ってしまった。

「日本共産党と原やすひさ」の合同事務所開き（6/10）の様子を動画で見ることができます。
ブログ「紀伊半島 原やすひさ」<http://kiihanto.exblog.jp/>

こんにちは！藤井健太郎です (ふじいけんたろう)

参議院選挙事務所開き（6月10日）も終わり、7月4日公示、21日投票の参議院選挙が目前に迫っています。しんぶん赤旗読者、後援会員や日本共産党の四方山話を日頃するお宅を日本共産党の政策をもって政治・政局の話をしに回っています。

「年金は下がるわ、介護保険料は有無を言わさず取られるわ、その上、消費税が上げられたら踏んだり蹴ったりやな」と切り出すと「そうよ、うちなんか遺族年金だけやで、なんとかしてほしいわ」と返ってきます。

最近では「安倍さん、所得を150万円あげてくれるらしいな」という話を聞くようになりました。「そうらしいな、けどあれは個人の家計所得じゃなくて、国民総所得、つまり海外で荒稼ぎしている日本企業のもうけを含んでの話らしいで」「なんやそうかいな、ほなあかん」となります。

大企業がもうかれれば、いずれ中小や労働者にも回ってくる、こんな話は時代遅れの詐欺商法みたいな話です。大企業だけが一人勝ちし、多くの国民が貧困にあえぐ、こんな政治を変えましょう。

前県会議員 ふじい健太郎



映画「約束」を見ました。「名張毒ぶどう酒事件」の容疑者として逮捕され、すでに死刑が確定している奥西勝さんの再審を求めている人生をそのままストレートに描いています。

上映された内容は本当に胸が痛むもので、何度も涙がこみ上げそうになりました。しかし、誰よりも辛いのは奥西さん自身であるはずで、事件発生からすでに52年、

奥西さんは87歳になり健康状態も悪化しています。この5月の連休には一時危篤状態に陥るなど緊迫した事態ともなりました。

この52年間、弁護団や支援団体のみなさんと客観的な証拠を挙げるなど冤罪は確信的なものとなつていきます。司法は直ちに再審を開始するべきです。「最高裁判第1小法廷 裁判長」に宛て、奥西さんの再審開始を求める要請をしました。みなさんのご支援もよろしく願います。